

# 北多摩西部防火・防災会 平成30年度定期総会・防災講演会

南街・桜が丘地域防災協議会本部  
平成30年06月23日

平成30年06月23日に中小企業大学校で標題の北多摩西部防火・防災会平成30年度定期総会が開催され、東大和市(72団体加入)及び武蔵村山市(55団体加入)の各団体が参加し、平成30年度役員及び事業計画が確認されました。

● 定期総会;北多摩西部消防署が説明(総会資料の主要分は本紙に添付しました)  
定期総会の後、下記の講演会ありました。

演題;「地域防災力の向上に向けて」

● 特定非営利活動法人日本防災士会;藤田隆雄様



開会の挨拶

防火・防災会  
会長;吉澤様

北多摩西部消防署  
署長;野崎様

東大和市  
市長;尾崎様



参加の各団体の皆様



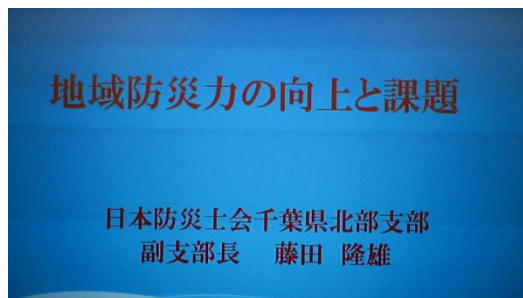
司会



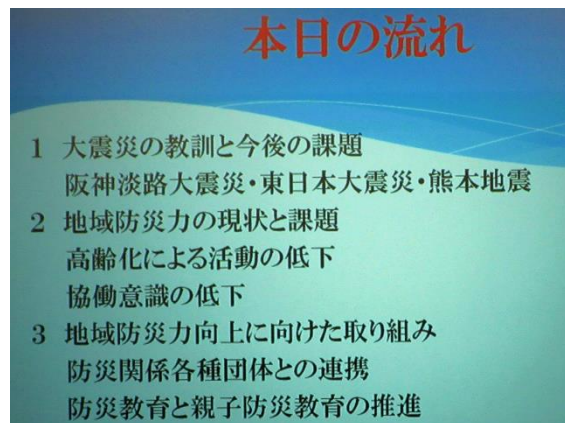
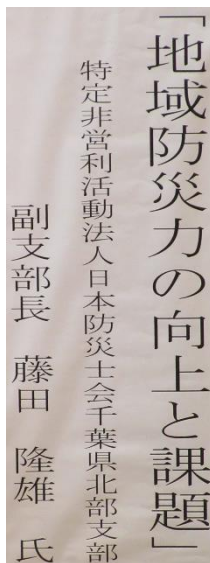
● 防災講演会

- ・ 大地震の教訓と今後の課題
- ・ 地域防災力の現状と課題
- ・ 地域防災力向上活動の低下

について種々の具体例を基に講義をして戴きました。今後の我々の防災活動も本日の講義を参考にして推進して行きたいと思います。



講師：藤田様



## 教訓事項Ⅱ

ボランティア制度が発足(ボランティア元年)

1日平均2万人、3ヶ月で延べ117万人のボランティアが被災地支援にあたった。

ボランティア活動受付状況



(2) 東日本大震災(2011年3月11日午後2時46分)の発生

死者15,893名、行方不明者2,553名、

負傷者6,152名 M9.0 海溝型地震

1

沿岸部を襲った巨大津波



(3) 熊本地震(2016年4月14日午後9時26分、

4月16日午前1時25分)

死者267名(直接死50名、関連死212名)

2度の地震(震度7)に見舞われ、多くの家屋が倒壊した。

倒壊により瓦礫と化した家屋

益城町での家屋状況



(4) 今後の課題

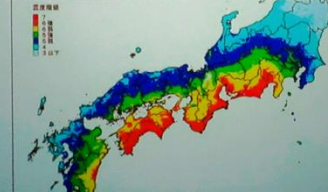
2013年12月、政府・中央防災会議は、今後30年以内に70% (80%)の確率で発生する地震として

**ア 南海トラフ地震**(本年1月に発生確率80%に引き上げ)

南海・東南海・東海地震の震源域で間隔をおかず発生すると言われる巨大地震で90年～150年間隔で発生している。

過去の巨大地震としては1707年の「宝永地震」がある。

南海トラフ地震発生時の被害地域予想図



首都直下型地震の震源については、

海溝型=相模トラフを震源とする地震(関東大震災)

千葉県東方沖地震

直下型= **立川断層帯(埼玉県名栗村～府中市内陸地殻内)**

- ・ 関東平野北西縁断層帯(群馬中南部～埼玉北中部)
- ・ 神縄・国府津・松田断層帯(静岡東縁部～神奈川県西部)
- ・ 三浦半島断層群
- ・ 伊勢原断層
- ・ 鴨川低地断層帯

エ 被害想定

人的被害 死者2万3,000人

経済的被害 95兆円



## 2 地域防災力の現状と課題

(1) 地域防災力の現状

昭和36年11月、災害対策基本法が制定されたことに伴い、「自主防災組織」の結成が全国で促進された。この結果現在では全国で159,967組織、組織活動カバー率81.0%となっている。

しかし、現実には、自治会=自主防災組織であり、自治会の未加入者が増加すれば、当然地域防災力の低下につながる。



## 東大和市・武蔵村山市と鎌ヶ谷市の比較

|          | 東大和市     | 武蔵村山市    | 鎌ヶ谷市     |
|----------|----------|----------|----------|
| 人 口      | 85,699人  | 72,638人  | 109,67人  |
| 世 帯 数    | 38,761世帯 | 31,533世帯 | 48,141世帯 |
| 財 政      | 522億     | 470億     | 576億     |
| 自主防災組織   | 41組織     | 30組織     | 94組織     |
| 組織活動カバー率 | 38.1%    |          | 54.7%    |

地域を守る自主防災組織の強化=地域防災力

## (2) 地域防災力の課題(全国的な傾向)

### ア 高齢化による活動の低下

全国的に自主防災組織及び自治会活動の中心として活動してきた段階の世代が70歳代を迎え、全体として高齢化・活動の低下を招いている。

### イ 協働意識の低下

30～40代の都内中心部通勤者は、郷土意識が薄く、地域住民とのコミュニケーション不足が顕著で協働意識が低い。

### ウ リーダーの不足

自主防災組織・自治会ともにリーダーとなるべき人材が不足している。

### エ 活動のマンネリ化、形骸化

自主防災組織の防災活動がマンネリ化又はワンパターン化していることや組織化されて以降活動がない状態(形骸化)が続いている。

## 3 地域防災力向上に向けた取り組み

### (1) 自主防災組織の活動活性化ヒント1

#### ア アイデアを募集すること

中学生・高校生や女性、商店等からイベントや広報のアイデアを募集し、防災訓練等への参画意識を持たせる。

#### イ 訓練やイベント活動の参加者を増やす

小中学生による手作りのチラシやポスターで防災活動を周知する。

西白井市防災訓練



### (2) 自主防災組織の活動活性化ヒント2

#### ア 地域行事に合わせて活動

お祭り、運動会、バーベキュー、一斉清掃日等の地域で人が集まる機会を活用して防災啓発を行う。

#### イ 遊び感覚、体験型のイベントを行う

防災クイズ、炊き出し、避難所体験、放水訓練、ロープワーク等

#### ウ 各種防災団体との連携

消防団、交通安全指導員、ボランティア団体、日赤学校等、防災関係団体を含めた防災訓練の実施

特に消防団については、平常時に連携を持つことで非常時に備えることが可能となる。

## おわりに

- 防災対策は、自助に始まり、共助、協働と発展し、三者が相まって初めて地域の防災力が確立されるが、その中で「共助」、即ち地域で助け合う体制の構築とその活動は、自主防災組織が担うべき活動の中核です。今後とも地域防災力の中核として活動して頂きたいと思います。

ご静聴有り難うございました。



回覧用



北多摩西部防火・防災会

## 平成30年度定期総会・防災講演会

北多摩西部防火・防災会では、以下のとおり、平成30年度定期総会及び防災講演会を開催いたします。

万障お繰り合わせの上、ご参加願います。

日 時 平成30年6月23日（土曜日）  
午前10時30分から午後0時00分まで  
（受付開始：午前10時00分から）

場 所 中小企業大学校 東京校 講堂（4号館）  
東大和市桜が丘二丁目137番地の5

### ○ 内容

【第1部】 定期総会（午前10時30分から）

【第2部】 防災講演会（午前11時00分から）

講師：特定非営利活動法人日本防災士会  
千葉県北部支部 藤田 隆雄 氏

演題：（仮）「地域防災力の向上へ向けて」

※ 防災講演会のみのご参加でも構いません。

※ 施設内駐車場は使用できませんので、ご来場の際は、公共交通機関等の利用についてご配慮をお願いいたします。

主 催：北多摩西部防火・防災会  
お問合せ先：電 話 042-(565)-0119  
FAX 042-(564)-0119  
（北多摩西部消防署警防課地域防災担当） 山口 津田

# 平成30年度定期総会

日 時 平成30年6月23日(土曜日)

午前10時30分から

平成30年度

北多摩西部防火・防災会定期総会次第

## 《第一部》10:30～10:50

- 1 開会
- 2 役員紹介
- 3 会長あいさつ
- 4 地区代表自治会紹介
- 5 北多摩西部消防署長あいさつ
- 6 役員等紹介
- 7 来賓あいさつ
- 8 平成30年度行事予定

## 《第二部》11:00～12:00

- 1 防災講演

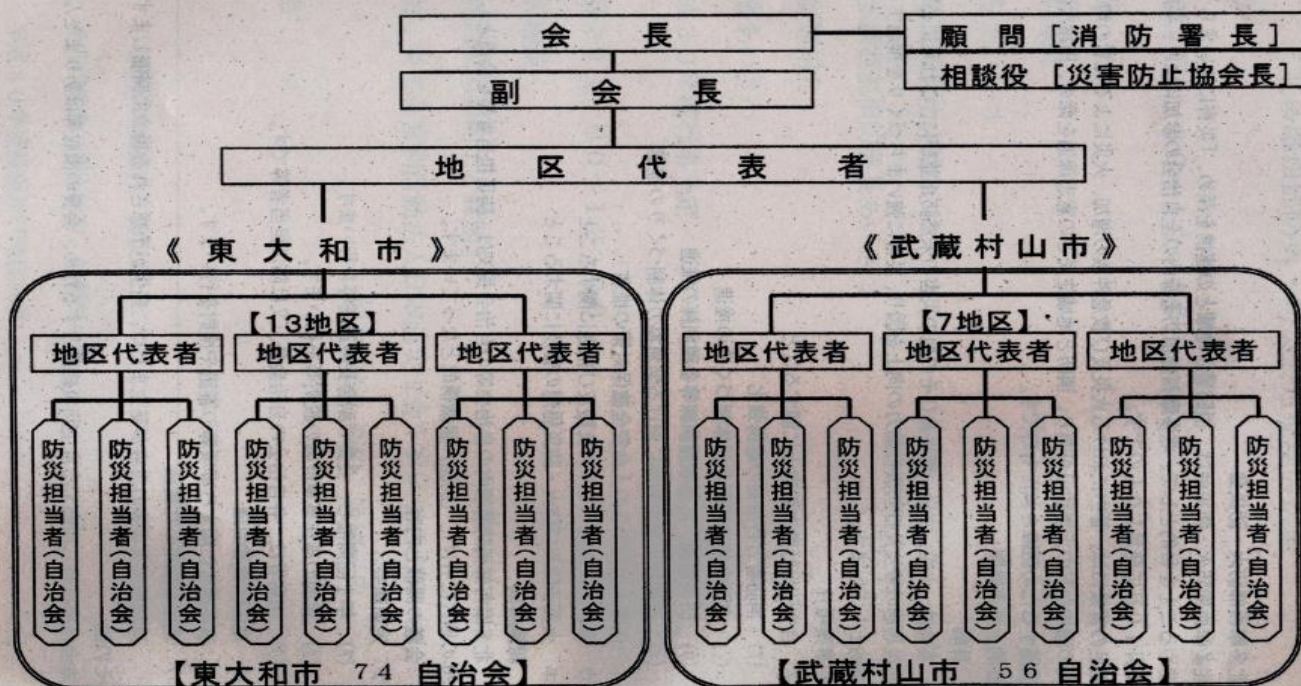
『地域防災力の向上と課題』

講師：特定非営利活動法人日本防災士会千葉県北部支部

副支部長 藤田 隆雄 氏

- 2 閉会

## 北多摩西部防火・防災会



## 平成30年度行事予定

| 月           | 行 事 等                                                                                                         |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 月         |                                                                                                               |
| 5 月         |                                                                                                               |
| 6 月         | ○ 防火・防災会定期総会・防火・防災講演会 (6月23日 土曜日)                                                                             |
| 7 月         |                                                                                                               |
| 8 月         | ○ 防災週間 (8月30日～9月5日)<br>○ 武蔵村山市総合防災訓練 (8月下旬)                                                                   |
| 9 月         | ○ 東大和市総合防災訓練 (9月上旬)                                                                                           |
| 10月         |                                                                                                               |
| 11月         | ○ 秋の火災予防運動 (11月9日～11月15日)                                                                                     |
| 12月         |                                                                                                               |
| 1 月         | ○ 防災とボランティア週間 (1月15日～1月21日)                                                                                   |
| 2 月         |                                                                                                               |
| 3 月         | ○ 春の火災予防運動 (3月1日～3月7日)                                                                                        |
| 通 年<br>推進事項 | 1 防災訓練、防災座談会の推進<br>2 総合防災教育の推進<br>3 住宅用火災警報器の設置促進<br>4 家具類の転倒・落下・移動防止対策の普及<br>5 春・秋の火災予防運動及び防災週間を捉えての一般住宅防火診断 |

## 資料 1

### 「北多摩西部防火・防災会」について

#### 1 北多摩西部防火・防災会

北多摩西部防火・防災会は、消防署と地域との連携を深め、「災害に強いまちづくり」を進めることを目的として、北多摩西部消防署管内の全自治会の参加により、平成12年11月10日に発足したものです。

発足の背景には、管内における火災及び救急件数の増加、火災による死者の増加、放火火災の増加などの災害状況があり、消防と地域住民との意志疎通を深め、円滑な防災行政を推進するため組織されたものです。

#### 2 目的と事業展開

##### (1) 目的

本会は、火災、水災、震災及びその他の災害の未然防止並びに、これらに必要な防火、防災思想の普及及び防災行動力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進することを目的としています。

##### (2) 事業項目

###### ア 自主防災行動力の向上に関すること

- (ア) 消防署と自治会の連携強化
- (イ) 自治会等の隣保共助体制づくりの推進
- (ウ) 防災訓練、応急救護訓練等各種訓練の推進
- (エ) 連続放火発生時等における緊急協力体制づくりの推進

###### イ 住宅火災等からの人命安全確保対策の推進

###### ウ 自主防災組織づくりの支援及び推進に関すること

###### エ 火災予防及び防火・防災思想の普及に関すること

##### (3) 組織構成

北多摩西部消防署管内の自治会等の自治会長又は、防災担当者等を会員とし、両市を20の地区に分けた（別図）組織構成となっています。

##### (4) 会議の開催と内容

###### ア 定期総会

- (ア) 年1回開催し、会長・副会長の選任等を行います。
- (イ) 年間の事務事業計画の説明等を行います。
- (ウ) 出席者は、各自治会の自治会長、又は防災担当者等です。

###### イ 地区代表者会議

事業運営に関する事項等の審議や検討を行います。

###### ウ 地区を限定した会議

連続放火火災等の災害が発生または、発生が予想される場合に開催します。

#### 3 その他

本会は市民自ら活動する自主防災組織とするため、会費の徴収等はありません。